

# 平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年5月30日  
公益財団法人 同盟育成会

山内豊彦

## [I]事業の状況

### 【学生寮事業】

#### 1、入寮状況

(1) 平成26年12月に男子寮として誕生した白山寮と27年3月に女子寮化のための全面改修を終えた市谷寮が4月にそれぞれ、男女2寮体制になって初めての新寮生を迎え、平成27年度募集で採用した男子20人(白山寮)、女子22人(市谷寮)の計42人が入寮した。

この結果、期首の在寮者数は男子46人、女子39人となり、前年同期と比べ、男子7人、女子17人の計24人増加した。それでもなお男子8人、女子23人の欠員があったため、7月10日締め切りで、平成27年度の第3次募集を実施、女子1人を7月31日付で合格とした。

一方、27年度中に、卒業などにより男子13人、女子8人が退寮した。

(2) 平成28年度の募集も、前年度同様、平成27年11月下旬締め切りの1次募集と28年3月上旬締め切りの2次募集の2段階方式とし、27年6月29日に募集要項をホームページにアップした。

応募者は、平成27年11月27日締め切りの第1次募集29人(男子21人、女子8人)、28年3月4日締め切りの第2次募集33人(男子13人、女子10人)で、計52人(男子34人、女子18人)だった。

女子は20人の募集枠に届かなかったが、応募者数18人は過去5、6年の実績からみて、特別少ないということもなく、このペースでいけば、市谷寮も数年で満室になると期待できる。

応募者に対しては、順次書類審査と面接を実施し、学寮運営委員会の審査を経て、男子21人、女子14人を合格とした。

このほか、平成28年3月末で退寮が予定されていたながら、在寮延長を申請していた男子3人、女子2人のうち、専門学校へ転籍する男子1人と大学院へ進学する女子2人の延長を認めた。

平成27年度期首と28年度期首の在寮者数は次の通り。

	平成27年4月		28年4月	
	白山寮 (定員54人)	市谷寮 (定員62人)	白山寮	市谷寮
大学5年生	0人	0人	1人	0人
4年生	12人	8人	6人	7人
3年生	7人	8人	10人	8人
2年生	10人	7人	14人	11人
1年生	12人	11人	17人	11人
専門学校生	1人	1人	1人	2人
大学院生	4人	4人	5人	7人
合計	46人	39人	54人	46人

## 2、寮生自治

学寮の日常的運営については、白山、市谷それぞれの寮で寮生が組織する委員会に委ねた。

ほぼ週1回のペースで開かれる委員会の会議には、学寮長も参加し、議論を傍聴するとともに、必要に応じて助言した。

## 3、行事

### ①対面式

白山、市谷合同の平成27年度新入寮生・在寮生対面式を、同年4月12日に白山寮で開催し、山内理事長が訓示した。

### ②夏季キャンプ

寮生の自主行事である恒例の夏季キャンプが平成27年9月5、6の両日、茨城県・筑波山で実施され、男女合わせて70人の寮生が参加した。夏季キャンプには、寮生訓育活動の一環として財団から補助金を出すとともに、黄田白山、齋藤市谷両寮長も同行し、指導に当たった。

### ③創立記念式と講演会

平成27年10月18日に、白山寮で、毎年恒例の創立記念講演会と記念式を開催した。

現役寮生、寮生OB、財団関係者ら約160人が参加。記念講演会では、時事通信社OBで元日銀副総裁の藤原作弥氏が「戦後70年に想うこと」と題して講演した。

### ④成人式

平成28年1月17日に白山寮で白山、市谷合同の成人式を開き、山内理事長が出席して、新成人14人に記念品を贈呈した。

### ⑤その他

寮生の希望者にTOEIC（英語検定試験）やインフルエンザ予防接種を育成会の費用負担で受けさせる事業を例年通り実施、TOEICは13人、予防接種は72人が受けた。

このほか、寮生主催の新人歓迎会（平成27年4月18日）、クリスマスパーティー（同年11月29日）、卒寮生送別会（平成28年3月5日）などに補助金を支出した。

## 4、白山寮の管理・給食委託業者を変更

白山寮の給食・管理業務について、同業務を委託している一富士フードサービス（株）との契約を契約期間が満了する平成28年3月31日をもって打ち切り、更新しないことを決定、平成27年12月24日に同社にその旨を文書で通告した。

同社に代わる委託先として、（株）フジランドを選定、平成28年3月22日に同年4月1日付で契約書を交わした。

一富士フードサービスは市谷寮発足時から給食・管理業務を委託している会社で、寮生の評判も良かったため、白山寮も市谷と同等のサービスを期待して同社を選定した。

しかし、給食の質、量について寮生から「市谷と比べて著しく劣る」との不満が出たため、同社に善処を要請したが、十分な改善がみられず、白山寮については、業者を変えて給食・管理体制を抜本的に建て直すことが必要と判断した。

## 5、学生寮PR強化にGoogleの広告を活用

28年度の新入寮生第1次募集で女子の応募が少なかったため、2次募集ではインターネットのGoogle検索サイトに同盟学寮の広告を出し、学寮のPRを強化した。

財団ホームページの閲覧数が格段に増加し、「インターネットで同盟学寮を知った」という応募者も1次募集に比べて増えており、広告効果は十分にあったと判断できる。

## 【奨学金事業】

### 1、古野給与奨学金

#### ①平成27年度の採用

平成27年度の大学院生向け給与奨学金は5月15日に募集を締め切った結果、10大学から15人の推薦があった。

また、平成27年度から始めた大学生向けの給与奨学金は、5月29日に募集を締め切ったところ、8大学から8人の推薦があった。

6月10日に奨学生選考委員会を開いて最終審査した結果、全員採用を決定した。

採用者の概要は以下の通り。

大学院＝大学別の内訳は北大、東大、京大、九大の国立大学4校と同志社が各2人。名古屋大、早大、慶大、上智大、東京女子大が各1人。男女別では男子8人、女子7人となった。

今年度は留学生の割合が例年になく多いことが特徴で、同志社大が2人とも留学生だったのをはじめ、北大、東大、名古屋大、慶大からも各1人の推薦があり、計6人の留学生を採用した。国籍はいずれも中国。

大学学部＝大学別の内訳は北大、阪大、早大、慶大、上智大、立教大、青山学院大、東京女子大の計8校で、各校から1人ずつの計8人。いずれも日本人学生で男女各4人となっている。

新規採用者を加えた27年度の給与奨学生数は、大学院25人、大学8人で、このうち平成26年度採用の大学院生1人については、留学のため、9月から1年間の予定で給与を休止している。

#### ②給与奨学生研修会

給与奨学生（大学院生）の定期研修会を平成27年9月と同28年3月に実施した。

9月は7、8の両日、横浜市の横浜情報文化センターで、3月は7日午後、東京・日比谷公園の松本楼で開催した。

また、大学学部生に対しても、3月14日、平成27年度採用者を対象に、東京・内幸町の日本記者クラブで研修会を開催した。

#### ③平成28年度の奨学生募集と採用

大学学部奨学生は、就職活動時期等を考慮して研修会の時期を早めることとし、平成28年度は4月4日に設定した。これに伴って、募集時期も大幅に繰り上げ、平成27年11月18日から開始、同28年3月4日に締め切った。

応募者は11大学15人で、目標の20人には届かなかったが、前年度の8人と比べるとほぼ倍増した。新しい奨学金が徐々に認知されつつあると判断できる。

3月14日に奨学生選考委員会を開いて審査した結果、応募者15人のうち、保護者の収入が1,500万円超の1人を除き、14人の採用を決めた。

大学別では、九州、早稲田、慶応義塾が各2人、東京、一橋大、東京外語、茨城、上智、立教、中央、関西学院が各1人だった。

### 3、貸与奨学金の新規採用休止

平成27年度から、貸与奨学金の新規採用を休止した。

貸与奨学生数は30人（大学・大学院生29人、高校生2人）。このうち1人は9月で貸与を終了した。

27年度の貸与総額は1,038万円、これに対し返還金総額は2,714万5,234円となり、差額の1,676万5,234円は奨学金基金に積み立てた。

## 【収益事業】

引き続き、東京・渋谷の旧学寮跡地を、時間貸し駐車場を運営する日本パーキング（株）に貸与し、収益を上げた。賃貸料収入は月額 270 万円。平成 27 年度の年間収入額は 3,240 万円。

## 〔Ⅱ〕 管理部門の状況

### 1、諸規程の整備

引き続き諸規程の整備を進めた。制定、改正した主な規程等は以下の通り

「嘱託就業規則」改正（平成 27 年 10 月と同 28 年 3 月の理事会）

「組織・職制規程」制定（平成 28 年 3 月の理事会）

### 2、役員等の異動に関する事項

平成 27 年 6 月 15 日の評議員会で、任期満了に伴う理事、監事の選任が行われ、理事 14 人、監事 2 人全員が再任された。

また、同日の理事会で、理事の互選により、理事長に山内豊彦理事、常務理事に井口智彦理事をそれぞれ再任した。

### 3、職員等の異動に関する事項

なし。

### 4、会議に関する事項

#### (1) 理事会

##### ● 第 1 回 平成 27 年 5 月 27 日

決議事項

(1) 平成 26 年度事業報告書・同決算書

(2) 平成 27 年度第 1 回評議員会招集

報告事項

(1) 次期役員推薦候補者

(2) 代表理事の職務施行状況報告

##### ● 第 2 回 平成 27 年 6 月 15 日

理事の互選により、理事長に山内豊彦理事、常務理事に井口智彦理事を選任

##### ● 第 3 回 平成 27 年 7 月 15 日

決議事項

平成 27 年度第 2 回評議員会招集

報告事項

代表理事の職務執行状況報告

##### ● 第 4 回 平成 27 年 10 月 26 日

決議事項

嘱託就業規則改正

報告事項

(1) 平成 27 年度上期事業報告、同決算報告

(2) 代表理事職務執行状況報告

● 第5回 平成27年12月18日

報告事項

代表理事の職務執行状況報告

● 第6回 平成28年1月20日

決議事項

平成27年度第3回評議員会招集

報告事項

(1) 平成28年度事業計画策定と同予算編成の基本方針

(2) 代表理事の職務執行状況報告

● 第7回 平成28年3月9日

決議事項

(1) 組織・職制規程制定と嘱託就業規則の関連部分改正

(2) 平成28年度事業計画書、同予算書

(3) 理事個別報酬決定

報告事項

代表理事の職務執行状況報告

(評議員会)

● 第1回 平成27年6月15日

決議事項

(1) 平成26年度決算書

(2) 次期理事、監事選任

報告事項

平成26年度事業報告書

● 第2回 平成27年10月26日

報告事項

平成27年度上期事業報告、同決算報告

● 第3回 平成28年3月9日

報告事項

平成28年度事業計画書、同予算書

**5、許・認可、承認に関する事項**

なし

**6、登記に関する事項**

1) 中村輝子理事の名前を「中村輝」に更正する登記（平成27年6月30日）

2) 理事14人、監事2人の重任を登記（平成27年6月30日）

**7、報告等に関する事項**

1) 平成26年度事業報告等を提出（平成27年6月29日、内閣府）

2) 平成28年度事業計画書等を提出（平成28年3月22日、内閣府）

### [Ⅲ] 保有株式に関する報告

その株式の 20%以上を保有している企業について、概要を報告する。

企業名 株式会社太平印刷社（非上場 80 万株・本社東京都品川区東品川 1—6—16）

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 資本金／事業内容 | 4,000 万円／印刷業・従業員数 60 人   |
| (2) 代表者／役員数  | 沖田啓了 代表取締役社長／4 人   |
| (3) 保有株数／比率  | 20 万株・額面 50 円／25%  |
| (4) 保有の理由    | 当財団発足時の母体であった（社）同盟通信社が解散した際、その印刷部門が独立創業した会社で、昭和 49 年増資時に一部資金を当財団から貸与した見返りとして贈与された。 |
| 5) 当財団との関係   | 同社の石井和行会長が当財団理事を兼任している。  |
| 6) 処分の見通し    | 同社には買い戻す資金的余裕がなく、適当な売却先も見つからないため、処分は困難である。   |

### [Ⅳ] 附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書は作成しない。

以上